

# 農業後継者育成基金事業

## 平成24年度 農業高校助成事業(就農促進対策事業)

### 事業主体名 鹿児島県立鹿屋農業高等学校

#### 1 目的

農業後継者確保のため啓発活動及び視察研修を主とする。1年次は全員を対象に農業大学校・総合開発センター等の2回の視察を行う。2年次では農家委託実習を7泊8日で実施し、体験的に経営学習を行う。3年次は直接就農及び農業大学校進学者等で先進農家を中心とした視察研修を実施し、適格者の確保を目指すものである。

#### 2 実施状況

##### (1) 責善寮視察研修の実施

1年生である責善寮生が農業大学校や県農業総合開発センターを視察研修することで、本県の農業の実態や農政の現状等を学習し、将来の新規就農者及び地域産業の担い手として将来の方向付けを確立するための機会とする。

視察研修をとおして本県の実態等を研修し、今後の学習の刺激となっている。



##### (2) 農家委託実習の実施

専門科目の実験・実習などの学習成果をもとにして、地元優良農家において体験的に学習することにより農業に関する理解を深めるとともに豊かな心の醸成に努める。

農家での宿泊体験をとおして、自宅とは違った生活を体験することにより多角的な考えができるようになった。



##### (3) 就農志向者研修

就農志向者を対象に優良農家及び関連施設等の視察研修を実施し、将来の就農に向けての指針とする。

豚や牛のと殺から解体、肉のカットと普段見ることのできない最新の施設を研修し自分たちが飼育した家畜が店頭に出るまでの流れを理解することができた。また命の大切さが改めて分かった。



#### 3 今後の課題、取組

自営学科への入学者が減少している。また、非農家の入学者が多く基礎・基本から指導しなければならない状況である。今後、生徒募集に力を入れ魅力ある学校づくりに努めたい。